

ひとよし 市議会だより

第109号



2021 / 令和3年8月1日 発行



新たなスタートを切った 笑顔あふれる 観光複合施設「HASSENBA」
(球磨川くんだり人吉発船場)

主な内容

- ② 6月定例会報告
- ⑥～⑩ 一般質問 ～市政の内容を問う～
- ⑪ 政務活動費収支報告書
- ⑫ 復興のまちづくり意見交換会のご案内

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市下城本町1578番地1

☎ 0966-22-2111

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

6月定例会報告

令和3年6月第3回定例会は6月1日から6月23日までの23日間開催しました。

令和3年度 一般会計補正予算 4億 1,867万 3千円 増額可決

(補正後の総額は291億 1,626万 9千円)

人事案件

教育長の任命に同意した方
志波 典明 氏
教育委員会委員の任命に同意した方
加賀 邦保 氏

令和3年度一般会計補正予算の主なもの

くま川鉄道災害復旧
事業費補助金



3,068万 5千円

新型コロナウイルス
ワクチン接種事業



4,689万 9千円

被災市街地
復興推進事業

6,130万 6千円

6月1日定例会開会日に、常任委員会等の改選がありました。

予算委員会

定数 18名

◎ 徳川 禎郁
全 議員

○ 池田 芳隆

経済建設委員会

定数 6名

◎ 田中 哲
西 洋子
福屋 法晴

○ 牛塚 孝浩
豊永 貞夫
大塚 則男

総務文教委員会

定数 6名

◎ 宮原 将志
松村 太
犬童 利夫

○ 宮崎 保
塩見 寿子
西 信一郎

議会運営委員会

定数 8名

◎ 福屋 法晴
池田 芳隆
犬童 利夫
豊永 貞夫

○ 松村 太
平田 清吉
井上 光浩
本村 令斗

厚生委員会

定数 6名

◎ 高瀬 堅一
徳川 禎郁
平田 清吉

○ 本村 令斗
池田 芳隆
井上 光浩

※◎は委員長、○は副委員長です。

復興のまちづくりに関する特別委員会を設置しました

6月23日定例会最終日に、復興のまちづくりに関する諸問題の調査を目的とする特別委員会を設置しました。

委員長 宮原 将志

副委員長 西 洋子

委員 全議員

** 全国市議会議長会表彰 **

市議会議員として10年、市政の振興に努めた功績が認められ、次の5名の議員が全国市議会議長会表彰を受けられました。

なお、6月定例会で伝達式を行いました。

左から
高瀬 堅一 議員
宮崎 保 議員
平田 清吉 議員
犬童 利夫 議員
大塚 則男 議員



総務文教委員会報告

●委員長 宮原 将志 ●副委員長 宮崎 保
●委員 松村 太・塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎

令和3年度 一般会計補正予算を承認

企画政策部関係の主なものは、各町内会に対し、安心してコミュニティ活動が実施できるよう新型コロナウイルス感染症防止対策備品（空気清浄機、アクリルパーティション）を貸与するための備品購入費。くま川鉄道が今年度予定している新橋梁の設計委託料についての補助金。（くま川鉄道の復旧事業については、事業費の4分の1に相当する額を人吉球磨10市町村で負担）

教育部の主なものは、令和2年7月豪雨で蟹作町内広場に崩落した土砂樹木の撤去委託料と、同豪雨災害により避難所として使用した人吉スポーツパレス大アリーナの空調設備、床の改修設計委託料です。

人吉スポーツパレスについて委員から、「一日も早くスポーツパレスを利用したいという声がある」や、「また、万が一災害が発生した場合には避難所となる。国や県からの有利な財源を見つけ改修費用を確保してもらいたい」との意見がありました。



蟹作町内広場



人吉スポーツパレス 大アリーナ

人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を承認

今回の条例改正は、市長の4月17日の一連の行動について、災害からの復興を目指している最中、市政並びに市民の皆様様に混乱を生じさせたことについて、その責任を重く受け止め、市長の給料月額を減額するため、条例の一部を改正するものです。

改正の内容については、令和3年7月1日から令和3年7月31日までの間における市長の給料月額を、10分の4乗じて得た額を減じた額とするものとなっています。（なお、市長の月額給料はマニフェストにより、令和元年7月1日から任期満了まで10分の2減額、行財政健全化計画により、令和2年4月1日から任期満了まで10分の1を追加して減額しており、そこに今回更に10分の1を追加して減額）

委員から、「市長が判断したのであればやむを得ない」という意見や、「新型コロナウイルスの濃厚接触者になったことが、懲罰の対象になるという前例とならないようにしてもらいたい」等の意見がありました。

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 本村 令斗
●委員 徳川 禎郁・池田 芳隆・平田 清吉・井上 光浩

議案8件を承認・可決

今回は、専決処分の議案5件、条例改正議案1件、補正予算議案2件を、承認・可決しました。

承認・可決した議案の中で、専決処分の予算において、医療従事者・65歳以上・高齢者入所施設の従事者への個別ワクチン接種委託料5,633万8千円と、補正予算において64歳以下のワクチン個別接種委託料4,689万9千円の増額補正の計上がありました。

その予算に関連した、新型コロナワクチンの接種者名簿の入力漏れに係る市の対応により、行政が市民に大きな不信感を与えたこと等を受け、委員会では、この問題を見越すことは出来ないと判断し、長時間にわたり慎重審査を行いました。

審査の過程で委員から多くの質疑がありました。抜粋しますと、「64歳以下の個別接種委託料は何名分なのか」に対し「10,298人の2回分」との答弁、また「なぜ397人もの通知漏れが発生したのか」に対し、「業者からの成果品をデータの数だけで確認したためミスが生じた」との答弁がありました。な

お、今後は、この事務作業は市で行うとの説明がありました。さらに「今回の契約書の作成方法に疑問がある」等に対し「今後十分注意してまいります」等の謝罪と答弁がありました。

委員会では、一旦採決は見送り、市長へ委員会への出席要求を行い、市長の見解を聴取することにしました。その際、市長から謝罪と今後の再発防止と積極的な事業推進を行う旨の強い決意表明がありました。これを受けて、委員会では、再発防止等の観点から、次のとおり申入れを行いました。

- ①市民の生命・財産を守るため、再発防止に努めること。
- ②契約書を作成する際の条項の精査や、委託業者から成果品が提出された際の確認など、チェック体制の強化を図ること。
- ③保健センターにおける事務処理が増大することに対する人員の確保に配慮すること。

その後、専決処分の予算と補正予算についての採決を行い、全員異議なく承認及び認めることに決しました。

経済建設委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 西 洋子・豊永 貞夫・福屋 法晴・大塚 則男

専決処分された2つの予算を承認

1つ目の主なものは、「新型コロナウイルス感染症対策夜間営業飲食店等支援給付金」で、支給件数と金額についての質疑に、「件数は178件で、合計金額は4,375万5千円」との答弁がありました。「小規模事業者店舗等新しい生活様式導入支援補助金」は、402万2千円増額し、2,736万2千円とするものです。これは新型コロナウイルス感染対策を実施した小規模事業者に対し、その事業費の一部を支援するもので、購入されたものは主に、空気清浄機、アクリルパーティション、アルコール消毒液とのことでした。

2つ目の主なものは、商工業振興費の委託料395万円で、国のマイナポイント利用環境整備事業補助に係るものです。内容は、商店街等におけるマイキーID設定及びマイナポイント申込支援、利用店舗の募集、及び広報等を委託するもので、委託先は人吉商工会議所を予定しているとのことでした。「商工会議所に加盟していない店舗への呼びかけはどうか」との質疑に、「加盟していない事業所も使える制度なので、市として、加盟していない事業所にも呼びかけていく」との答弁がありました。

令和3年度一般会計補正予算を承認

主なものは農業振興費の補助金622万1千円です。これは球磨酪農農業協同組合が、新たにドリンクヨーグルト製造施設の新設等を行うことに対する

補助金です。

球磨川くんだり支援事業補助金が250万円で、これは企業版ふるさと納税を活用し、球磨川くんだり株式会社の支援を行うもので、FRP船ラッピング、カフェ事業に対する補助金です。

住宅管理費の委託料1,000万円の増額は、災害公営住宅建設に伴う災害公営住宅の仕様・性能・配置計画、及び意向調査の集計・分析等の基本計画検討の業務委託に係るものです。



球磨川くんだり支援事業
(H A S S E N B A)



球磨酪農農業協同組合
ドリンクヨーグルト製造施設改修工事

陳第9号の取り下げを承認

「新型コロナウイルス感染症対策による熊本県時短営業要請によって売り上げに影響を受けた事業者に対する救済を求める陳情」は、令和3年2月22日付けで提出され、3月議会において継続審査とし、慎重に審査してまいりましたが、令和3年4月16日付けで、陳情の取り下げが提出されましたので、全員異議なく認めることにしました。

新市庁舎建設に関する特別委員会報告

●委員長 福屋 法晴 ●副委員長 豊永 貞夫 ●委員 全議員

本委員会は、「新市庁舎建設の諸問題について調査する」ため、令和元年6月17日に全議員の構成で設置し、調査完了に伴い、令和3年6月23日に終了しました。全20回開催した審議概要等について報告します。

<事業概要>

本体工事費：約47億8千万円
(外構及び工事監理費含む)
総事業費：約57億円(用地取得費等含む)
供用開始：令和4年6月予定

<審議概要>

新市庁舎建築本体工事等で、市内企業の受注機会を確保するため条件を付す等の協議を行いました。

アクセス道路、市道青井西間線は、来庁者等の安全確保のため、横断歩道の位置や、信号機の設置等について要望を行いました。

什器整備計画では、働き方改革や行政改革の拠点となる新しいモデルオフィスの検討を行いました。現時点では1階フロア以外は既存什器の転用を中心とする費用対効果の高い計画となっています。

新市庁舎等ネットワーク構築計画は、スーパージ

ティ構想を掲げる本市において、将来性、費用対効果、発展性を考慮するよう要望を行いました。

令和2年7月豪雨の影響で、本体工事が一時中止(7/6～9/16)されましたが、工期については令和4年6月供用開始の予定を変更することなく工事が進んでいます。

この他、建設発生土の運搬ルート、駐車場整備計画、教育部配置変更等多くの事項を審議しました。新庁舎は、基礎免震構造が採用され、熊本地震クラスの地震にも耐えられるよう、また令和2年7月豪雨のような水害の際にも、防災・災害対策拠点として機能するよう設計されています。一時避難所としても利用できます。

安心・安全な市民生活を支え続ける新市庁舎は、いよいよ来年6月に供用開始を迎えようとしています。

今後も事故や遅れ等が生じないよう、また市民に親しまれ愛されるよう運営面にも熟慮するようお願いをして特別委員会を終了しました。



完成イメージ図

治水・防災に関する特別委員会

●委員長 田中 哲

●副委員長 池田 芳隆

●委員 全議員

第5回の本委員会を6月2日に開催し、「1 令和2年7月豪雨災害の状況等について」、「2 その他」を審議事項としました。

「1 令和2年7月豪雨災害の状況等について」では、人吉下球磨消防組合本部より、早田和彦警防課長、岩本靖則警防課長補佐に出席いただき、「早期避難の重要性」というテーマで、令和2年の豪雨災害時の記録映像の説明がありました。その後、*深江政友地域防災官から「7月豪雨を踏まえて」をテーマに「犠牲者0を目指す」や「防災意識の高い人吉市に」等の内容で講話がありました。

審議の過程で委員から、水害時のライフジャケットの有効性。消防組合の出動態勢。消防本部の資機

材の分散の方法。自主防災組織の活性化。消防本部の立地の問題。災害弱者の定義。自治体間の災害時の協定作り。小・中・高校生に対する啓発活動。避難誘導と周知の徹底等多くの質疑がありました。

「2 その他」では災害条例の制定の質疑に対し、執行部より、防災意識の向上等で効果があると思うので、今後研究・検討させていただきたいとの答弁がっております。その後、執行部より5月30日に行われた自主避難訓練の結果報告もありました。

*深江政友地域防災官…令和3年3月に人吉下球磨消防組合消防長を退任。5月1日人吉市に地域防災官として任官。

令和3年6月定例会の議案等の議決結果

番号	件名	議決結果
議第45号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度 人吉市一般会計補正予算（第19号））	原案承認
議第46号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号））	原案承認
議第47号	専決処分の承認を求めることについて（人吉市税条例等の一部を改正する条例）	原案承認
議第48号	専決処分の承認を求めることについて（人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例）	原案承認
議第49号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第1号））	原案承認
議第50号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議第51号	人吉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第52号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意
議第53号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議第54号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第55号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第56号	人吉市教育長の任命につき同意を求めることについて	任命同意

令和3年6月定例会の請願・陳情等の議決結果

付託委員会	件名	議決結果
経済建設委員会	新型コロナウイルス感染症対策による熊本県時短営業要請によって売り上げに影響を受けた事業者に対する救済を求める陳情	撤回
総務文教委員会	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書提出の陳情	継続審査

議員別表決 「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。

議案番号	議案	議員氏名																	
		松村太	徳川禎郁	池田芳隆	牛塚孝浩	西洋子	宮原将志	塩見寿子	高瀬堅一	宮崎保	平田清吉	犬童利夫	井上光浩	豊永貞夫	福屋法晴	本村令斗	田中哲	大塚則男	西信八郎
議第53号	令和3年度 人吉市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	／

○：議案に対して賛成

●：議案に対して反対

／：議長は表決に加わりません

消防団の報酬改定と組織編成は



福屋 法晴



動画視聴

問 人吉市消防団員の報酬改定及び今後の組織編成については。

答 団員報酬は、総務省消防庁から「消防団員の報酬等の基準の策定等について」が出される額の引き上げが提言されている。今後、消防委員会に議論をお願いし真摯に検討したい。組織の再編は地域の消防・防災力の低下を招かないためにも団員の確保等、総合的に検討が必要。各分団・各町内会等の意見を聞き活動しやすい組織編成を図りたい。

問 災害時、安全に活動する際、人員は最低何人必要か。

答 総務省消防庁の指針において、小型動力ポンプを操作する場合、消防隊員数は4人と定めがある。

※その他、保育園の副食費無料化を要望しました。

復興まちづくり及び地域防災計画について



徳川 禎郁



動画視聴

問 復興計画の中に歴史的まちなみを残す、または新たに歴史的まちなみを創る計画はあるのか。

答 歴史的まちなみの再生は復興まちづくりの重要なテーマ。未来に繋がる復興を目指したい。

問 日中不在の方や地区懇談会に参加できない方々の生活再建やまちづくりに対する意見はどのように拾っていくのか。

答 地域支え合いセンターと連携した戸別訪問や相談窓口の設置など丁寧に意見を頂戴したい。

問 防災計画の受援計画に基づき平時から民間との連携の考えは。

答 総合的な訓練の中に取り入れ、民間企業やボランティア団体等の協力を得ながら実施したい。

※他、スポーツパレス、市民プールの改修及び今後の計画を質した。

コロナウイルスワクチン接種と被災者支援



牛塚 孝浩



動画視聴

問 65歳以上の接種完了時期は。

答 順調にいけば本年7月末完了。

問 64歳以下への接種開始後、2回目までの完了見込みは。

答 本年9月末を目標としている。

問 医療機関ごとの予約数と、接種可能数の速報を、市のホームページで閲覧できる仕組みを開設してほしいがどうか。

答 毎週更新の形で掲載するという予定で人吉市医師会と協議中。

問 被災証明書を取得した事業者へ、ふるさと納税などを財源に独自の支援ができないか。

答 国・県・市の支援策を利用できていない方を調査中であり、今後の対応を検討していきたい。

※他、発災後の課題検証について、各種民間ボランティア団体との応援協定の必要性について質した。

移動困難な被災者に対しタクシー券の補助を



塩見 寿子



動画視聴

問 タクシー券の種類と内容は。

答 福祉課にて、身体障害者手帳1級、療育手帳A1、精神障害者保健福祉手帳1級をお持ちの方を対象とした「人吉市福祉タクシー利用券」がある。12枚つづりの利用券で有効期間は1年。

問 被災され運転ができなくなったり、高齢で車を持っておらず、買い物や通院を頼める身寄りがない方がおられる。タクシー券を補助する考えはないか。

答 「住まいのアンケート」には「車が被災し移動手段がない」「住み慣れた場所でないので不便」という意見が多かった。熊本県球磨川流域復興基金」の交付金を活用して「被災者支援タクシー券交付事業」ができないか検討し、県へ要望している。

今後の復旧・復興について



宮原 将志



動画視聴

問 河川の堆積土砂撤去の完了は、市民感覚とズレがあるのでは。

答 更なる土砂撤去や河川掘削を望む声が多く、大きな課題と捉えている。国や県に、現計画より早期に行うよう要望したい。

問 「市長の復興まちづくりの考えを聞きたい」との声が多いが。

答 まずは、流域治水により「安全」の確保は最重要である。その上で、景観に配慮しながら、安全を確保できる道路網や緑あふれる公園、地域資源を活かした回遊性の磨き上げなど「賑わい」を創出することも重要である。時間的緊迫性を持って取り組んでいく。

※他、社会教育施設の復旧や人吉ひかりの復興計画の取り組み、非常用電源の確保について質した。

河道掘削・搬出について 他



田中 哲



動画視聴

問 球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて、球磨川左岸のお城の石垣下と中川原の堆積土砂等の掘削は予定されているか。予定があればいつ頃実施か。

答 掘削予定箇所になっている。掘削は、上下流のバランスに配慮して実施されることと、早期に実施いただくよう国に働きかけていきたい。

問 熊本県は、県管理河川の令和3年出水時期までの掘削は完了と発表したが、鹿目川では計画されながら手つかずの所があり、二次災害が心配されるが。

答 災害復旧、堆積土砂撤去も含め早急な完成を要望したい。

※その他、国道445号の上新町、下新町、七日町の電柱移転についても質しました。





新型コロナウイルス接種について



豊永 貞夫



動画視聴

問 モデルナワクチンが承認され、全国的に大規模接種会場で使用されているが、本市でも使用されるのか。また、対象年齢が12歳から15歳までに拡大されたが、学校で集団接種する場合、接種をしない生徒が、いじめの対象になる可能性がある。慎重な判断が必要になるが本市の考えは。

答 モデルナワクチンは、ファイザーワクチンを接種していない施設でのみ接種可能で、本市では使用しない。12歳から15歳以下の接種は、保護者の同意が必要。接種については国の通知に基づき、人吉市医師会と慎重に接種計画を検討していきたい。

※他、重度心身障害者への避難先情報の周知と、仮設住宅集会会場周辺へ水道施設を設置すべきと要望。

被災市街地復興推進地域は中止すべき



本村 令斗



動画視聴

問 被災市街地復興推進地域の中心は、土地区画整理事業。この事業では、道路や公園の用地を取得するため、換地という強制的な処分が行われる。全ての土地の権利書を、有無を言わず一斉に書き換えるもので、位置や面積も変わってしまう。このときに面積を少しずつ小さくする減歩^{げんぷ}が行われ、狭くなった分の土地代を払われることもない。意見書が提出できるが、それまでに一切の工事が終わっており、事態を動かせないこのほうが多い。望まないのに土地が減るこの制度は、中止すべきでは。

答 復興に向けたまちづくりを迅速に進めていく上で、有効な手法と考えている。都市計画決定に向け手続きを進めていきたい。

人吉市校区别座談会における市民からの意見



平田 清吉



動画視聴

問 復興まちづくり校区别座談会における、市民からの意見は。

答 「早期避難に努めることが前提であり、日頃から避難路や避難場所の確認を行っておくことが重要」。「避難誘導のための情報伝達手段の多重化が必要」。「高齢者など要支援者がスムーズに避難できる、システム作りが必要」。「農地の復旧をとにかく急いでほしい」。「街中に空き地が増えており、市が買い上げて市営住宅や店舗などを建設して、人の流れを誘導してほしい」。「間口が狭く、接道要件を満たせない所も多く、再建に課題がある」。「早期に自宅を再建したいが、資金面等で不安」。「これまで築いてきた地域コミュニティが崩壊してしまうのではないか」。

中規模半壊非該当世帯への支援策について



大塚 則男



動画視聴

問 3月議会において令和2年7月豪雨災害の半壊世帯の中で中規模半壊非該当世帯に対しての独自支援策を求めたが、明確な支援策が示されていない。再度尋ねるが、市独自の支援策について検討する考えは。

答 昨年12月改正被災者生活再建支援法が施行され、住家の損害割合30%以上40%未満の世帯は中規模半壊世帯として支援金の対象になった。今回、住家の損害割合20%以上30%未満の中規模半壊にならない世帯に対して支援策を進めている。制度の内容は、対象世帯の条件設定、財源確保や支援金額の検討を行っている。現時点で具体的に示せないが、支援が早く被災者の手元に届くよう準備を進めている。

くま川鉄道の復旧と振興について



池田 芳隆



動画視聴

問 肥薩線の復旧見込みが見えない中、くま川鉄道の位置づけ・くま川鉄道への思いは。

答 くま川鉄道は必要と判断した。地域で支えなければならぬと考えている。肥薩線の復旧は、観光を軸とする本市にとって課題であるので、くま川鉄道の再開を大きくアピールしたい。

問 行財政健全化の短期的、中期的な計画は考えているか。

答 優先すべき課題は、市の復旧・復興である。復興に必要な事業を推進する一方、復興推進に直接的に影響が薄い事業は、短期的に中止・休止の精査を行うことになる。

※他、崩落の危険性がある地域（馬水川左岸、球磨川との合流点）への対策とその後について等質した。

避難所について



西 洋子



動画視聴

問 自治（町内）公民館を指定避難所に準ずる位置づけに出来ないか。

答 自主避難所は町内会の判断により開設していただいている状況。災害対策基本法に基づいて開設する避難所とは異なるため自主防災組織として運営を行っていただきたい。大規模災害時には、物資は配布する。

問 被災者・職員それぞれが最小限の負担の中で避難所の運営を行うには「避難所運営委員会」が必要だと思いが設置の考えは。

答 地域防災計画書には設置するとしているが現時点では設置できていない。委員会の設置に向けて、基盤となる自主防災組織や避難所管理運営などのしっかりとした整備をしていきたい。





特別支援教育支援員の状況と今後について



宮崎 保



動画視聴

問 特別支援教育支援員とは。人数、県内の他の市の配置状況は。

答 平成18年に学校教育法が改正され、特別支援学級だけでなく、通常の学級でも特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、適切な教育を行うもの。本市は小学校に16名配置、本市以外の13市は全て中学校にも配置。

問 支援員を増やすことで教員の働き方改革につながると思いますが、本市としての進め方は。

答 配置により、充実した教育活動を行うことができ、教員が心身の健康保持を実現し、教育の質が向上していくと考える。

支援を求めている教育現場に必要な支援を行うことができるよう、事務事業の見直しを含め、財源の確保に鋭意努めたい。

豪雨災害等の影響と避難行動の検証ほか



松村 太



動画視聴

問 子どもたちの成長のため、災害後、学校・地域・保護者がどのようにしていけばいいのか。

答 家族・学校・地域ぐるみの教育が大切と考える。たくさんの方が関わり、心と言葉をかけ、手塩にかけ、ともに育ち成長できる関係を構築していきたい。

問 昨年の発災時の避難行動をどのように検証されているのか。

答 避難情報は確認されているが、災害状況の情報収集が難しく最終的に自宅に留まることを判断されたものと考え。情報を確認された場合は、命を守る早期の避難行動をお願いしたい。

問 財政健全化と長期的な復興支援のこれからの方向性は。

答 優先度を設定し事業の選択と集中を行う必要があると考え。

防災意識の高揚と自治公民館の使用について



犬童 利夫



動画視聴

問 市民の防災意識を高めるための取組と今後の方向性は。

答 市・消防団・消防署との連携を図り、町内ごとの集会等を中心に地域防災官が出向き、市民や自主防災組織へ避難に対する考え方や重要性を訴えたい。

問 新型コロナウイルス感染症予防対策として、市施設や校区公民館の使用制限に伴う自治公民館の使用について対応は。

答 県のまん延防止宣言がなされ、本市及び近隣町村においても感染者が発生していることから、市民の安全を第一に考え、市施設は休館とした。自治公民館においては、安心して地域活動ができるよう感染防止対策のガイドラインを作成中。また備品の整備等環境整備を支援したい。

令和2年度政務活動費収支報告書

政務活動費とは、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症や7月豪雨災害の影響で、例年より返還金額が増加しました。

氏名	収入	支出										
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
松村 太	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
徳川 禎郁	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
池田 芳隆	120,000	0	0	0	0	0	0	0	21,780	0	0	21,780
牛塚 孝浩	120,000	0	0	108,155	0	0	0	0	4,895	0	0	113,050
西 洋子	120,000	0	0	44,000	0	0	0	0	63,520	0	0	107,520
宮原 将志	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
塩見 寿子	120,000	0	0	21,187	0	0	0	0	19,050	0	150,000	190,237
高瀬 堅一	120,000	0	0	0	0	0	0	811	18,150	0	0	18,961
宮崎 保	120,000	0	0	63,360	0	0	0	0	8,400	0	0	71,760
平田 清吉	120,000	0	0	0	0	0	0	0	32,685	0	0	32,685
犬童 利夫	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井上 光浩	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊永 貞夫	120,000	0	0	9,100	0	0	0	12,277	12,990	0	0	34,367
福屋 法晴	120,000	0	0	0	0	0	0	0	13,200	0	0	13,200
本村 令斗	120,000	0	0	21,187	0	0	0	0	8,400	0	150,000	179,587
田中 哲	120,000	0	0	0	0	0	0	6,092	0	0	0	6,092
大塚 則男	120,000	0	0	0	58,532	0	0	0	0	0	0	58,532
西 信八郎	120,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,160,000	0	0	266,989	58,532	0	0	19,180	203,070	0	300,000	847,771

- 注) ・政務活動費の交付を受けた議員を掲載しています。
 ・政務活動費の交付額は月額1万円。(行財政健全化計画に伴い、令和2年度から令和4年度まで、月額2万円を1万円に減額。)
 ・収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することとなっています。
 ・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありせん。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

復興のまちづくり意見交換会のご案内

～議員と人吉市の未来について話し合ってみませんか～

市民の方がメンバーとなっている団体等（町内会、教育・文化関係、福祉関係、商工関係の団体、複数名のグループ）ならどなたでも大歓迎です。



- 1 内容：復興のまちづくりに関すること
- 2 開催場所：開催場所は、申し込まれる団体で確保してください。
- 3 参加する議員：原則として、参加する議員は復興のまちづくりに関する特別委員会で決定いたします。
- 4 申し込み方法：議会事務局にお問い合わせください。（TEL 22-5381 〈直通〉）
※日程、内容等についてご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。
※新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえでの開催にご協力をお願いします。

事務処理ミス 早急な対策を！

市の事務処理ミスが続いたことにより、市議会から松岡市長へ早急な対策の申し入れをしました。昨年当初から新型コロナウイルスや7月豪雨災害からの復旧・復興で、職員の業務量も増えている状況です。そこで、今一度、職員一人一人が行うべきこと、組織として管理することを明確にし、予算や法令等も含めた業務の理解、組織におけるチェック体制、業務量や心身の状態にも配慮した人事管理等を十分に考慮し、早急な対策とるよう申し入れました。



市長に申し入れをする西議長と大塚副議長（6月21日）

市議会の虚礼廃止にご理解を！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと
- 議員や後援会が儀礼的な祝儀、香典、供花を出すこと
- 議員や後援会がお中元やお歳暮をすること
- 議員が暑中見舞いや年賀状などのあいさつ状を出すこと
- 市民や団体が議員に寄附などを求めること



市民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします

編集後記

あの日から一年が経ちました。スポーツパレスでは、令和2年7月豪雨犠牲者追悼式が執り行われ、また市内各所では鎮魂の催しがあり、人吉市内一帯が折りに包まれた一日となりました。解体が進み、町並みは変わりましたが、人吉盆地を囲む緑深い山々や、その中を流れる球磨川は雄大で穏やかです。6月議会では、新しく「復興のまちづくりに関する特別委員会」を設置しました。これからも議会として、市民の皆様と歩みを合わせ、復興へ向け全力で進んでいきたいと思えます。

コロナウイルスワクチン接種も進んでまいりました。一日も早くマスクが不要になり、子どもたちの笑い声に満ちた人吉になりますよう、復興と共に願うばかりです。

表紙写真・文責…

徳川 禎郁

次の定例会は
9月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／西 信八郎 副委員長／大塚 則男
委員／徳川 禎郁・宮原 将志・宮崎 保・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲